



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社
コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理担当 (氏名) 齊藤 隆夫

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,140	△4.5	1,011	△4.1	963	△7.1	604	0.4
24年3月期第1四半期	10,622	89.1	1,055	41.3	1,036	47.7	602	41.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 518百万円 (△9.3%) 24年3月期第1四半期 571百万円 (45.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	10.75	—
24年3月期第1四半期	10.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	35,929	26,757	74.0	473.00
24年3月期	34,637	26,518	76.2	468.78

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 26,618百万円 24年3月期 26,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	6.8	3,500	10.1	3,400	7.0	2,200	38.4	39.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	56,457,898 株	24年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	182,191 株	24年3月期	182,079 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	56,275,750 株	24年3月期1Q	56,277,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成24年4月～平成24年6月）におけるわが国経済は、緩やかに回復してまいりましたが、欧州金融危機を背景とした海外経済の減速化、円高の長期化等により、景気の先行きに対する不透明感が払拭できない状況の中で推移いたしました。

このような経営環境下、当社グループは、センシング技術・コントロール技術・レーザ応用技術・精密加工技術の融合によるシナジーを活かしたソリューションの提供により基盤事業の強靱化に努めております。また、成長が見込まれる中国をはじめとする新興国へ積極的・継続的に経営資源を投入し、中国においては地産地消（企画開発・調達・生産・販売・サービス）を進めるなど、グローバル展開を加速させております。さらに、これまで培った技術、ノウハウ等の経営資源を成長が期待できる環境・エコ分野や社会インフラなどのSA（Society Automation）分野へ展開するなど事業の成長を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における業績は、スマートフォン関連や自動車関連向けに拡大し、また、中国においても地産地消の効果が始め、前第3四半期連結会計期間（平成23年10月～平成23年12月）を底に回復してまいりました。しかしながら、主要顧客である半導体・液晶関連の設備投資抑制の影響等により売上高は10,140百万円（前年同期比4.5%減）となりました。営業利益は1,011百万円（同4.1%減）、経常利益は963百万円（同7.1%減）、四半期純利益は604百万円（同0.4%増）となりました。

セグメント別の状況

- ・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器など）
センシングコントロール事業においては、国内はスマートフォン関連や自動車関連向けに拡大いたしました。一方、海外は、半導体・液晶関連の設備投資抑制等の影響を受け、減少いたしました。その結果、売上高は5,889百万円（同3.0%減）となりました。
- ・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、紫外線硬化装置、画像処理機など）
プロセッシング機器事業においては、紫外線硬化装置が印刷用途の他、スマートフォン関連設備用途の需要を取り込み、国内及びアジアを中心に新商品を含め販売を伸ばしました。一方、レーザマーカは半導体関連の設備投資抑制等の影響を受け、減少いたしました。その結果、売上高は2,243百万円（同2.4%減）となりました。
- ・E c o・カスタム事業（エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品など）
E c o・カスタム事業においては、震災以降の電力不足を受け、節電対策における電力の見える化需要として、電力監視機器「エコパワーメータ」などエコ関連商品の顧客開拓が進展したものの、カスタム商品が半導体関連の設備投資抑制等の影響を受け、減少いたしました。その結果、売上高は2,008百万円（同10.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は35,929百万円となり前連結会計年度末に比べ1,292百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,564百万円増加し、25,125百万円となりました。主な内容は現金及び預金が1,324百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ272百万円減少し、10,803百万円となりました。主な内容は有形固定資産が210百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ1,092百万円増加し、6,850百万円となりました。主な内容は買掛金が533百万円、未払費用が456百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、2,321百万円となりました。主な内容は退職給付引当金が23百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ239百万円増加し、26,757百万円となりました。主な内容は四半期純利益604百万円による増加と、配当金の支払281百万円の減少等によります。

当第1四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより9,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,299百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益960百万円、仕入債務の増加による資金の増加549百万円、売上債権の減少による資金の増加452百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,910百万円となり前年同四半期に比べ1,262百万円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出158百万円等により184百万円の支出となり、前年同四半期に比べ404百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額266百万円、短期借入金の返済による支出96百万円等により362百万円の支出となり、前年同四半期に比べ151百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,129	12,453
受取手形及び売掛金	5,586	5,113
商品及び製品	1,353	1,771
仕掛品	606	591
原材料及び貯蔵品	2,636	2,766
預け金	653	627
その他	1,597	1,802
流動資産合計	23,561	25,125
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,768	3,768
その他(純額)	5,971	5,761
有形固定資産合計	9,740	9,530
無形固定資産	377	327
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	957	946
固定資産合計	11,075	10,803
資産合計	34,637	35,929
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,528	3,061
短期借入金	647	527
未払金	747	878
未払費用	522	978
未払法人税等	422	359
賞与引当金	686	766
役員賞与引当金	12	11
その他	190	266
流動負債合計	5,758	6,850
固定負債		
退職給付引当金	2,225	2,202
その他	134	118
固定負債合計	2,359	2,321
負債合計	8,118	9,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	12,819	13,142
自己株式	△63	△63
株主資本合計	26,445	26,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	30
為替換算調整勘定	△97	△180
その他の包括利益累計額合計	△64	△150
少数株主持分	137	138
純資産合計	26,518	26,757
負債純資産合計	34,637	35,929

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	10,622	10,140
売上原価	7,585	6,976
売上総利益	3,036	3,164
販売費及び一般管理費	1,980	2,152
営業利益	1,055	1,011
営業外収益		
受取利息	10	3
受取配当金	1	1
受取地代家賃	12	11
その他	0	2
営業外収益合計	26	19
営業外費用		
支払利息	0	6
持分法による投資損失	0	—
為替差損	40	48
不動産賃貸費用	2	1
その他	2	10
営業外費用合計	45	67
経常利益	1,036	963
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	2	2
社名・ブランド変更費用	11	0
特別損失合計	14	3
税金等調整前四半期純利益	1,024	960
法人税、住民税及び事業税	187	421
法人税等調整額	223	△71
法人税等合計	410	350
少数株主損益調整前四半期純利益	614	610
少数株主利益	11	5
四半期純利益	602	604
少数株主利益	11	5
少数株主損益調整前四半期純利益	614	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△2
為替換算調整勘定	△45	△88
その他の包括利益合計	△42	△91
四半期包括利益	571	518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562	518
少数株主に係る四半期包括利益	8	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,024	960
減価償却費	323	316
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4	△23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△256	80
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	2
受取利息及び受取配当金	△12	△5
為替差損益 (△は益)	16	18
支払利息	0	6
持分法による投資損益 (△は益)	0	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,260	452
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,084	△564
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,650	549
未払金の増減額 (△は減少)	△41	218
未払費用の増減額 (△は減少)	843	458
その他	△206	△92
小計	931	2,377
利息及び配当金の受取額	16	5
利息の支払額	△0	△6
法人税等の支払額	△299	△466
営業活動によるキャッシュ・フロー	648	1,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△607	△158
有形固定資産の売却による収入	58	0
無形固定資産の取得による支出	△32	△27
その他	△7	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△96
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△211	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211	△362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△192	1,299
現金及び現金同等物の期首残高	5,474	8,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,281	9,481

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に製品別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「センシングコントロール事業」、「プロセッシング機器事業」、「E c o ・カスタム事業」の3つを報告セグメントとしております。

「センシングコントロール事業」は、F A 用センサ、P L C、プログラマブル表示器等を、「プロセッシング機器事業」は、レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等を、「E c o ・カスタム事業」は、エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品他等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,074	2,298	2,249	10,622
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	6,074	2,298	2,249	10,622
セグメント利益	1,089	166	203	1,458

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,889	2,243	2,008	10,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,889	2,243	2,008	10,140
セグメント利益	1,190	179	166	1,536

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,458	1,536
全社費用(注1)	△449	△515
調整額(注2)	45	△9
連結財務諸表の営業利益	1,055	1,011

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。